

千鳥福祉会の店

もちだ夜市

入所利用者様と

ひまわりのアイス屋さん

ひまわり職員は全員でアイスクリーム屋さん
に挑戦しました。夜市参加が決まった当初はハシ
パーガー？パン？駄菓子？等色々な案を考え、持ち寄り
で試食会もしてみたりして、準備もとても楽し
かったです。
当日はアイスクリームの冷凍保存がすごく大変
でしたが、同じ子が5回くらい買いに来て
食べてくれたりして、喜んでいただける
ことがとても楽しく嬉しかったです。
来年は冷凍対策を再考して、また
参加したいねと話しています。

ひまわり・中林

屋台ご飯にご満悦

利用者様 夜市感想

内田功さん
印象に残ったこと
子ども達が、売り場や
売っている物がどこにあるかなど、
声をかけてくれたこと。

参加して良かったこと
大声で呼び込みができ、色々な人
が来てくれた。焼き場の手伝いや
商品運びもした。

大変だったこと
暑いのが大変だった。

次回やってみたいこと
焼きそば、卵チャーハンを作って
売ってみたい。呼び込みの仕事も
したい。

川上裕矢さん
印象に残ったこと
商品を買って食べまし
たが、全体的に量が物足り
なかったです…。

参加して良かったこと
地域の人達と交流できたこと。

大変だったこと
特にありません。

次回やってみたいこと
やりたいことは特にないですが、
言われれば何でもやります。

ごちゃ混ぜ感
がいい！

日頃外出する機会の少ない利用
者様数名と、もちだ夜市へ出かけ
ました！
千鳥福祉会のお店ではアイス、
フランクフルト、つくね棒。他にもい
ろんな屋台があり、縁日で遊ぶ方も
あり、みんなでお祭りを満喫。
また、寮から持ってきた莫座
(ござ)を敷くと、休憩場所を求めて
人が集まり、並んで座って
それぞれ過ごす様子は、
なんだかすごくいい
雰囲気でした。

持田寮・岩田

収益金は持田公民館へ
寄付させて頂きました。

苦情や要望の受付・解決への取り組み報告

(令和7年4月～令和7年7月)

標記期間中に苦情の申し立てはありませんでした。

今後も真摯に対応していきたいと考えますので、お気軽に、お申し付け下さい。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員

京 俊輔 氏 (島根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239
武子 愛 氏 (島根大学人間科学部 講師) TEL0852-32-9053
島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913
松江市障がい者福祉課 TEL0852-55-5304

法人のホームページ・
SNS公式アカウントはこちらから

私達の活動をより身近に感じて頂けるよう、ウェブ上でも、法人からのおしらせや、事業所の日々の様子などを発信しております。ぜひフォローしてみてください！

千鳥福祉会
ホームページ
http://www.tidori.org/



公式Facebook
https://www.facebook.com/chidorifukushikai1415



公式Instagram
https://www.instagram.com/chidorifukushikai/?hl=ja



Leaving
Care News
2025.9.22 No.152



〒690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人 千鳥福祉会
TEL 0852-24-8821 (代) FAX 0852-24-8825
障がい者支援施設 持田寮
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
ワークセンターフレンド
共同生活援助事業所 つばきの里
居宅介護等事業所 千鳥福祉会ケアセンター大空
相談支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービス ばすてるびいす
URL http://www.tidori.org/
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

本が放つ熱

千鳥福祉会 理事長 江指裕嗣

この機関紙の編集は、法人内の情報発信委員会が担っています。会議の始まりには、ちょっとしたお題を出し合うアイスブレイクを設けています。先日のテーマは「最近読んだ本」。

そこで分かったのは、意外にも多くのメンバーが本を読んでいないということでした。活字離れが叫ばれて久しい昨今、若い世代は本当に本から遠ざかっているのだなあと実感しました。

私は委員の中で最年長と言うこともあったか、比較的本を読んでいる方でした。考えてみると、本をめくること無く終える日はほぼ無いことに気づきます。もっとも多くは趣味の釣り雑誌なので偉そうなことは言えませんが、仕事柄、支援についての専門書も読みます。最近は経営書を手にも取ることも増えてきました。

ネットで情報を探すこともありますが、どうもまだ電子書籍を読もうという気にはなれません。紙の本を手にとったときの重さや手触り、紙の匂い、ページをめくる音、目を奪われる装丁の美しさ——そうした感覚は、情報を得る行為に引けを取らないほどの心地よさを与えてくれます。一日の終わり、わずかな自分時間、私はいつも本に「呼ばれている」気がするのです。

本は誰かが誰かに何かを伝えたいと思って書かれるものです。幾層にも重なる著者の好奇心や経験、学びや発見、そしてそのときの感情——それらを届けたいと願う思いの結晶。それはまさに「情熱」と呼ぶにふさわしいものです。

「光陰矢の如し、少年老い易く学成り難し」子どもの頃、教科書で覚えた言葉の意味を、今、深く実感しています。学ぶ時間は限られています。だからこそ、先人の知恵や若い世代の感性をためらわず吸収したい。この欲求は年を重ねるほど強くなっています。

この仕事を始めた30年前、地域の書店に障がい者福祉関連の専門書はほとんどありませんでした。それが今では書棚いっぱいになり並んでいます。出版業界は苦境の時代と言われますが、学びを求める私たちにとっては、かつてないほどに恵まれた環境です。

たったひとりの情熱であっても、その熱は周囲に伝わり、やがて引火します。本もまた、そうして世界を動かしてきました。私たちも福祉を志す者として、学びを重ね、その熱を絶やさず、燃やし続けたいと思います。

編集/情報発信委員会

- ・江指 裕嗣
- ・後藤 ふうこ
- ・勝部 のぞみ
- ・浦田 美智子
- ・高本 舞祈
- ・三原 恵美
- ・小村 めぐみ
- ・松崎 純子
- ・植尾 佳代

GH自治会・日帰り旅行～広島へ！

2025・夏の風景

ぱすてるとぴいすのなつやすみ 2025



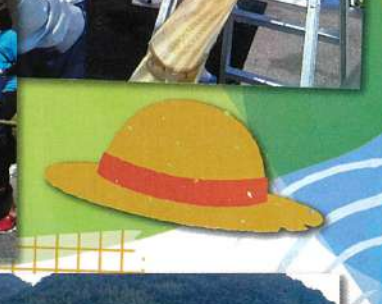
今年のぱすてるとぴいすの夏は、合同で夏祭りやそうめん流し、お出かけ等、たくさんの活動をしました。
みんなで一緒のお出かけは、少し遠出をして「三瓶自然館サヒメル」へ！木陰でお弁当を食べたり、みなさん展示物にも関心を持って観ていました。その他にも、ぱすてるとではプールや水鉄砲遊び、すいか割りなど、夏ならではの活動を楽しみました！
ぱすてるとぴいすでは、イオンで自由時間を過ごしてから昼食を食べたり、海水塩作り等の実験にも挑戦しました！
とても暑い夏でしたが、児童さんも職員も、みんなで夏を満喫しました！（ぱすてると・松崎）

今年もグループホームでは利用者自治会で日帰り旅行を計画しました。昨年、好評で「また行きたい！」との声が多数有り、蒜山や出雲大社、広島など…色々な希望が出ました。ケアセンター大空と協力の下、行き先を検討。今年は広島方面「八天堂パン作りコース」「安芸高田神楽コース」の2種類に決定しました。
八天堂ではパン作り体験に参加されました。クマやウサギなど様々に形成され、焼き上がると、互いの出来を見せ合いつつ袋詰めしてホクホク顔。近くには空港もあり、飛行機を見て「大きいねー」と喜んでおられる人も。安芸高田湯治村では神楽鑑賞。その後はそれぞれのご希望に応じて、神楽の小物作り体験、温泉、2度目の神楽鑑賞など、湯治村内で一日ゆっくり楽しみました。
帰りのバスでは「楽しかった」「また来年も行きたい」などの声があがっていました。（つばきの里・小村／ケアセンター大空・三原）



ういんぐの遠足～鳥取へ！

今年度の遠足は、今年新しく開館した「鳥取県立美術館」を訪れました。事前には利用者自治会を複数回開催し、美術館でのマナーについて学んだり、移動時の座席をくじ引きで決めたりと、利用者の皆さまが主体的に準備に参加しました。
当日は車両を複数便に分けて出発し、車内では「ういんぐの風車」と題して職員がDJを担当。事前にリクエストいただいた曲を流しながら移動し、車内の雰囲気はとても和やかで盛り上がりしました。
昼食は打吹回廊にて、地元食材をふんだんに使用した料理で、利用者の皆さまからも「美味しい」と大変好評でした。
午後からは、遠足のメインである鳥取県立美術館へ。現代アートから地域にゆかりのある作品まで多彩な展示を鑑賞し、普段とは少し違う時間の流れを感じていただくことができました。
利用者の皆さまにとって充実したひとときとなり、思い出深い遠足となりました。（L.C.C.ういんぐ・勝部）



持田寮・ボウリング大会

持田寮では、今年は運動会にかわり「ボウリング大会」を開催しました。7月中旬に全4グループの日程を組み、それぞれボウリング場へ出かけました。皆さん、いつもお出かけの際はウキウキです。ゲーム中は元気よくボールを転がして、ピンに命中したら大喜び。そして、ボウリングの後はカフェでランチ。メニューは彩りも良く、「美味しい美味しい！」と弾むような声も聞こえ、気づけば皆さん完食でした。



職員からは他にも「利用者・職員共に楽しめた」「利用者さんの意外な所や得意な事も見られて良かった」「昼食はゆったりできて、食事も美味しく皆さん喜んでおられました」などの感想が寄せられました。また皆さんに喜んで頂けるイベントができると良いです。（持田寮・後藤）



フレンド～千酌の海岸にて

夏は海水浴シーズン。清掃業務で訪れる千酌の海岸沿いも、晴れた日は陽射しが燦々と降り注ぎ……同時に、ゴミなどが捨てられたり漂着したりしている様子も目につきます。
業務の合間の僅かな時間ですが、そういったゴミも利用者の方が、大きいものから小さいものまで拾って、綺麗にしてくださっています。フレンドでできる小さな地域貢献のひとつです。（ワークセンターフレンド・高本）

